

## 第56号議案

令和8年度（2026年度）教育予算編成に向けての基本姿勢  
について

上記の議案を提出します。

令和7年（2025年）11月7日

提出者 中野区教育委員会教育長 田代 雅規

（提案理由）

令和8年度（2026年度）の教育予算を編成するにあたり、教育委員会としての基本姿勢を決定する必要がある。

## 令和 8 年度（2026 年度）教育予算編成に向けての 基本姿勢について

教育予算の編成に当たっては、先に区長が定めた令和 8 年度中野区予算編成方針を踏まえ、教育委員会として自らの権限と責任において、適切に行っていく必要がある。

令和 7 年度予算においては、「子どもたち一人ひとりの未来を切り拓く力を育む教育」の実現に向けて、ＩＣＴ環境を活用した学びの充実や不登校児童生徒への支援の強化等、教育の質を向上させるとともに、様々な教育課題に取り組んでいるところである。

また、「教育ビジョン（第 4 次）」をはじめ、令和 8 年度以降を計画期間とする「基本計画」で掲げた重点プロジェクト、区有施設整備計画等に基づく施設整備に着実に対応していく必要がある。

令和 8 年度教育予算の編成に当たっては、下記の基本方針に基づき、真に必要で優先度の高い事業を展開するために、より有効な実施方法等への見直しなどにより教育行政の一層の充実を図る。

### 記

#### 【基本方針】

##### 1 生きる力を育む教育の展開

子どもたちの可能性を伸ばし、自ら考え、学び、行動することのできるよう一人ひとりの個性に応じたきめ細かな教育を推進するとともに、学習指導要領の目指す「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」のバランスのとれた教育を展開する。

このような教育を実現するために、教員が知識や発想力を磨くことは、欠かすことのできないものであり、人材育成のための経費を計上する。

## 2 保幼小中連携教育の推進

15年間の学びの継続性を確保した教育により、子どもたちが発達段階に応じ生きる力を確実に身に付けていくための保幼小中連携教育を推進する。

## 3 教育相談等の体制の強化

すべての子どもたちがいつでも発信できる風土の醸成につとめるとともに、必要な支援を受けられるよう、一人ひとりの状況に応じて柔軟に対応できる教育相談等の体制を強化する。

## 4 いじめの対応に向けた組織体制の強化

いじめの予防や早期発見と適切な対応に向け、学校の組織体制や教育委員会の学校支援体制、また、保護者との連携体制を強化する。

## 5 地域とともにある学校づくりの推進

社会全体で子どもの豊かな成長を支えるため、コミュニティ・スクールを中心として家庭、地域、学校のさらなる協働を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。

## 6 良好な教育環境の整備

学校施設の改修・改築を着実に進めるとともに、新たな学びや変化する社会や地域状況に的確に対応できるよう、良好な教育環境を整備する。

## 7 働き方改革の推進

働き方改革を推進し、学校現場における職場環境の整備に努め、教員が子どもたちの教育の質の向上や自らの資質の向上に専念できる環境を整える。

## 【予算編成において重点を置く項目】

- 1 予測困難な時代に必要となる、自ら切り開く能力・資質の育成、健やかな心身と安全に対する力の育成を図る。
- 2 「中野区子どもの権利に関する条例」の趣旨を踏まえ、児童生徒自身が自分の意思や考え、思いを表明する取組を支援し、教育活動を推進する。
- 3 これまで取り組んできた保幼小連携の取組と小中連携の取組をさらに充実させるとともに、各中学校の課題を15年間の学びの視点で解決を図るカリキュラム連携研究に取り組む。  
特に、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を一貫し、英語を核とした総合的な学びを通して、児童・生徒一人ひとりが英語によるコミュニケーション能力の向上を図る取組を推進する。
- 4 家庭、地域、学校が協働して学校運営を進めていくため、地域学校協働活動の推進を図るとともに、コミュニティ・スクールの展開に向けた取組を推進する。
- 5 良好的な教育環境を整備するため、「中野区立小中学校施設整備計画（改定版）」に基づき、小中学校の施設の改築等を行う。  
また、子どもたちが安心して充実した学校生活を送れるよう、登下校の安全対策を強化する。
- 6 休日の学校部活動について、地域展開に向けた取り組みを進める。
- 7 学校教育における教材費・校外学習費を全額公費で補助することにより、子育て先進区にふさわしい教育環境の充実を図る。